東台だより

令和４年１０月３１日
鷹南学園三鷹市立東台小学校
校長　　小林　陽子
ホームページ http://www.mitaka-schools.jp/higashidai-es/

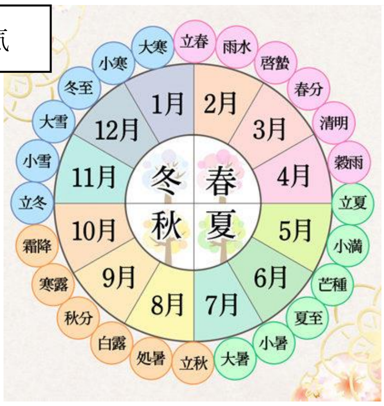
冬来たりなば春遠からじ

校長　小林　陽子

先日の運動会には、コロナウイルス感染症対策として参観の制限を設けましたが大きな混乱もなく、ご協力いただき、ありがとうございました。本番当日は、どの子も朝から心が躍り、保護者の皆様に自分たちの演技を見てもらえる高揚感でいっぱいの様子でした。練習とは違った緊張感がみなぎる表情から、パッと笑顔になる瞬間など、マスクを外したそれぞれの顔がキラキラと輝いていました。最後の成績発表では、まさかの同点となり、会場中が驚きにつつまれました。その中で、応援団長が笑顔でお互いの頑張りをたたえ合っている姿に、私はとても胸を打たれました。参観された多くの方が、お子さんの演技に心を揺さぶられたのではないでしょうか。ぜひ、その思いをお子さんと共有し、次の活動への意欲や力にしていただけたらと思います。

さて、暦の上では１１月７日（月）は『立冬』です。秋分と冬至のちょうど中間に当たります。この日を境にいよいよ本格的な冬の到来となり、この後、「小雪」「大雪」「冬至」「小寒」「大寒」と移り変わります。

二十四節気



昔、北国では、秋の収穫はすっかり終わり冬の間の食糧を蓄え、薪割りをして燃料も蓄え、こたつを用意し雪囲いをして暖房を備える時期でした。この長く閉ざされた冬の間に、夜なべ仕事などに怠りなく取り組み、人々はやがて来る春の準備に向けて様々な構想をめぐらしてきました。まさに「冬来たりなば春遠からじ」の言葉のように、冬はやがてめぐる春への希望を一人一人の胸に育む季節でもあるのです。

各ご家庭でも、これまでの過ごし方を振り返り、お子さんの思い・夢・希望などを話題に語り合ってはいかがでしょうか。また、近年、身の回りの自然が減少するとともに、冷暖房の発達や豊富な食材によって、人々が季節の変化を感じることが少なくなってきています。こうした季節を表す言葉を通して、季節の変化を感じることのできる豊かな感性を養うために、ぜひ、お家の方の子どものころの話をしながら、四季のある日本の自然の素晴らしさも話題にしていただければと思います。

11月の行事予定

生活目標：進んで仕事をしよう
保健目標：歯を大切にしよう
給食目標：感謝して食べよう

１日（火）通常授業 【１・２年５時間　３～６年６時間】 ２日（水）学園研究発表会　【４時間授業】 ３日（木）文化の日　祝日 ４日（金）からだの学習（２）　安全指導 風の五重奏団（６） ７日（月）全校朝会　短なわ週間始 ９日（水）読み聞かせ（１～３、５・６・くす） １０日（木）クラブ　秋の歯科検診（全） 短なわ集会① １１日（金）短なわ週間終　短なわ集会② 生活体験学習（くす） １４日（月）読書週間②始　短なわ集会予備 【A時程　５時間授業】	１６日（水）児童読み聞かせ １７日（木）委員会⑥ １８日（金）就学時健康診断 （４時間授業　13時完全下校） ２１日（月）全校朝会 ２３日（水）勤労感謝の日　祝日 ２４日（木）クラブ⑧ ２５日（金）読書週間②終　歯科口腔指導（３） ３０日（水）読み聞かせ（４～６・くす） 校内研究 ４時間授業（２年１組は５時間授業） （　）…学年　○…回数

ハラスメント等相談窓口　副校長 上原、主任養護教諭 後藤にお気軽にご相談ください。